

大ニ日中

版 コ ス シ

道新 No. 123 湯水浴い 編定 80 呎 (4. 縮トアハ進地)

高野 No. 208 本縮同い No. 373 36. 3. 10

新装 No. 36 春の白鳥湖の心臓部 86 呎 (4. 縮トアハ進地)

甲口 No. 49

一、桃の節句

——東京・埼玉——

三月三日は桃の節句。養護施設のよい子たちもおひな様のまわりに集まって、楽しいひな祭りです。このひな人形の古里は、城下町の名残りをとどめる埼玉県岩槻なのです。この人形の歴史は今を去る百八十年前、伏見の人形師が、人形を作るのに気候風土が適していると居を定めたのがはじまりと言われています。

今日ではひな人形だけでなく、アイヌ人形やハリマ人形の一部もここで作つていられると言われ、年産十億円を越す盛況ぶり。国内だけでなく、海外にも手を延ばし外貨獲得に一役買っているきょうこのごろの人形づくりの町です。

一、インスタント繁盛記

世はインスタント時代という、インスタントとは、日本の言葉にすれば即席ということである。人間生活もすべからずインスタントになつて来た。台所の奥様方はさしずめオカズノイローゼ、そこで東京の或るレストランのご主人が、お料理一九番なるものを新設、お料理指南番というところですよ。それでもという向きには食べ方問題の喰い方題、名付けてバイキング料理なるものが進出、より取り見取りとはいえ大枚一、五〇〇円也ではいとも即席とはいきません。

家が建つのが待ち遠しい向きにはわずか三時間で造つてくれる便利な家まで現われました。組み立てるのがミソというところ、はては手を使わずにドアが開き、足を使わずに歩いて行けるラベーターと、時代の流れとはいえこうもインスタントばやりでは人間生活も味が無くなりそうです。カメラルポ

一、穴の中の観測所

——長野——

南日本を襲つた日向灘地震をはじめ、このところ各地で被害が相つゞ折から、地震観測所が注目を浴びています。

世界地震観測地図をひろげると、日本では長野県松代が記載され、舞鶴山のふもと、元木本営のあとに松代地震観測所があります。当時激しい爆撃にも耐えるようにと突貫工事で作られた岩穴が冬になつて役立ち、観測所の心臓部となつています。

ここには一トン周期地震計をはじめ最新型の機材を備えているものの、十七年前掘られ、岩穴は湿気が絶えないため観測員が肺結核で倒れるという全くの悪条件の中で仕事がつづけられています。

ひとたび大きな地震ともなれば、遠くモスクワや南ア連邦などからの資料の注文で所内は大変な忙しきになります。昼夜の別なく大地の動きを見つめる職員の仕事も湿気のため毎日フトンを干さなければならぬ有様です。

地震国、日本での代表的観測所としては、余りにもめぐるべない地震観測所の姿です。

67 呎 266 呎 244 呎 140 呎